



TITLE:

[主な宮繕工事]花山天文台

AUTHOR(S):

CITATION:

[主な宮繕工事]花山天文台. 京都大学大学院理学研究科附属天文台年次報告 2014, 2012年(平成24年): 40-40

ISSUE DATE:

2014-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196601>

RIGHT:

構内電話交換機改修工事 (2012 年 9 月 1 日–11 月 30 日)

構内電話交換設備を更新した。既設設備の規模と同等に機能を向上させた電話交換設備、電話機に改修した。

(施工業者: 中央電子工学)

職員宿舍 1 号棟 (本郷) 風呂改修工事

従来はバランス釜、コンクリートタイル張りにて利用し、冬季間には極めて寒い状況の中で利用されていた職員宿舍 1 号棟の風呂をユニットバス化し、利用の利便性、快適性を向上させた。

(施工業者: 大下設備工業)

(木村)

7.2 花山天文台

恒星フレアサーベイ望遠鏡観測室設置(2012 年 6 月)

露場内の太陽フレア監視望遠鏡の建屋の隣に、新たに恒星フレアサーベイ用の望遠鏡用の観測室としてスライディングルーフを設置した。これまでは本館屋上に観測する都度望遠鏡や観測用の PC を持ち出して観測していたが、スライディングルーフ設置により観測開始前の準備等の時間を大幅に短縮することができた。

(施工業者: 協栄産業 (本体設置)、カクサン建工 (コンクリート基礎作成))

本館研究室網戸取り付け(2012 年 7 月)

本館の 12~14 号室 (野上研究室、山中研究室、本田研究室) に新たに網戸を取り付けた。これにより、各室において虫などの飛来を気にすることなく窓を開放することが可能となり、夏場でも暑さがさほど厳しくない日にはクーラーを使用せずに過ごすことができるようになった。

(施工業者: カクサン建工、ほか)

花山浄化槽など水回り設備の改修(2013 年 2 月–3 月)

花山の污水浄化設備については、まず本館および太陽館の浄化槽が老朽化し、污水の漏れや臭いの発生が問題となっていた。また、新館については、污水タンクの容量が小さいため、短期間に多数の来訪者があった場合にタンクが満水になることがあった。

以上のような状況に鑑み、台内の污水处理設備を全面的に改修した。新たなシステムでは、新館前駐車場の南東角に集中合併槽を設置するとともに、各館から合併槽まで污水を送るための配管を敷地内に埋設した。さらに太陽館については、新たに建物の東側に排水槽を新設するとともに、そこから合併槽まで污水を送るためのポンプを設置した。

また、以前より汚れや臭いが問題となっていた新館 1 階の男子トイレの全面的な改修を行った。これにより、来客や一般公開の参加者に気持ちよくトイレを利用していただけようになった。

さらに、新館各室へ上水を供給するため配管を全面的に付け替えた。これにより、配管の老朽化による汚れ (赤さび) のない清浄な水を各室へ供給できるようになった。

(施工業者: 影近メンテ、ほか)

(前原、八木)